

基本的な考えは宮崎県五ヶ瀬町での先進的な取組を参考にし、本町にあったスタイルにアレンジしました。

小学校間、中学校間の同じ校種同士の連携をYRG（横連携グループ）授業とし、中学校区ごとの小中学校の連携をTRG（縦連携グループ）授業として区別しています。

## 「YRG」と「TRG」の取組を詳しく教えてください。

YRG授業は、同校種間の横の連携により、学習内容に応じて適正規模の学習集団を構成し、学習効果を高めるために行う授業です。

基礎基本となる内容を繰り返し行い、確実に身につけるような学習では、個別指導を含め、より少数人数での学習が効果的です。

一方、音楽の合唱・合奏や体育のボールゲームなどは、多人数で行った方がダイナミックな活動が体験できます。理科や社会等の教科でも、関わり合いの中で多様な意見や考えを導き出したい場合は、ある一定以上の人数で学習した方が効果が高まります。



▲活発な意見交換に自然と笑顔がこぼれる

## 【RG授業】

学校間連携グループ授業。  
学校間で、学習内容に応じて、より効果的な学習の場を創り出し、子どもたち一人一人に学力の定着を図る。



▲合唱や合奏は多人数での学習に適している

## 【YRG授業】

横の連携グループ。  
学習内容や個々の習熟度によって、同校種間の連携で最適人数の授業を創出。

## 【TRG授業】

縦の連携グループ。  
小・中学校間の連携による高い学習効果をねらった授業・活動。

つまり学習内容や個々の習熟度によって授業の最適人数は異なるため、授業時の実態に即して最適な学習集団を創り出すことが肝心で、町内の同学年の児童・生徒が一堂に会することにより、それが可能となるわけです。

小学校で年10回40時間、中学校で年5回20時間のYRG授業を行う予定です。

TRG授業（縦の連携グループ）は、小中学校間の連携で効果的な学習の場を創り出す取組です。総合的な学習の時間や行事などでの交流を積極的に行うことを考えています。また、児童・

生徒の交流にとどまらず、教員間の交流や施設利用などの多様な取組を行い、効果的な学習を生み出します。

「RG授業」でどんな効果を期待していますか。

RG授業により、適度な緊張感の中、一つの節目としての楽しい授業が展開され、子どもたちには多様な学習経験が保障されます。子どもたちは、学ばせながら、確かな学力を身につけていくことになりま。また、学校の枠を越えた新しい人間関係が構築される中で、自尊心や自己有用感、自己効

力感を膨らめていくことが期待されます。RG授業は、ある意味、キャリア教育の大きな取組の一つと考えます。

町民へ一言お願いします。

教育委員会、町内の学校が丸となって教育ビジョンに取り組んでいきます。どうぞ応援してください。

また、教育は、家庭や地域が一体となって取り組むことが大切です。支援員等で学校教育のお手伝いをしてくださる気持ちのある方は、ぜひ人材バンクに登録をお願いします。

